



防災訓練

反省と課題

(安否確認訓練)

- 9月6日(日)の防災訓練は簡略化し、安否確認のみの実施としましたが、結果は白布掲示 60 数%でした。当日不在者は例年から見て 20%弱、在宅者で白布掲示のうっかり忘れ、体が不自由で動けなかった、意に止めていない方等が 20%弱おられると推定されます。災害発生時における白布掲示は「私達の家族は無事ですよ」という連絡であるとともに、「私達の家族は大丈夫だから早く白布のないお宅に回って安否確認してください」というメッセージでもあります。自主防災隊は白布掲示のない全お宅に安否確認のお声をおかけして回りますので、真に救出を要するお宅の発見に辿り着くには時間がかかる場合もあります。白布掲示は大切な取り組みですので無事なお宅は白布掲示 100%が目標です。
- 地震発生時の打ち上げ花火の合図でテーブル等の下で、**身を低く、頭を守り、動かない**の身を守る安全確保行動をお願いしましたが実行できましたか。学校、職場等での防災訓練で座布団を頭に載せ、机の下に身をかがめたことを思い出してください。また数年前の震度 7 の熊本地震では亡くなった方は多くはないですが、8 割は主に耐震強化前の古い家の倒壊、また倒れた家財等の下敷きによる圧死、窒息死と言われております。身を守る基本をとっさの行動として習慣づけておきましょう。初動対応が生存率を大きく左右します。

(三密対応避難所開設訓練)

台風シーズンを前に郷州小学校体育館で、市職員、各自治会関係者により三密を避けた避難所設営、避難者受け入れ訓練が行われました。またみずき野町内会関係者にも公開され、ミニ訓練も行われました。密を避けるために避難所の収容人員は減少します。

浸水想定区域の皆さんは、日頃からハザードマップで自宅のハザードを確認し、浸水危険時避難所以外の、分散避難(親戚、友人、ホテル、車中泊や自宅の 2 階等)も考えておきましょう。またお年寄りやお体の不自由な方にも声掛けし助け合って避難しよう。

(町内会 中谷副会長)



自主防災隊員によるテントの設営訓練



段ボールベッドの組立訓練



10月18日(日)

みずき野リンリン健康フェスタ



みずき野集会所前広場

当初、郷州小学校のグラウンドでの開催予定でしたが、前日の雨によりグラウンドコンディションが悪く急遽、みずき野集会所前の広場に変更。当日は雨もあがり、時折り太陽が顔を出す天候で無事、開催することができました。競技を始める前に約70名の参加者全員でラジオ体操をしました。体操のあとは、玉入れを全員で3回戦を行い赤組が勝利しました。競技種目は玉入れの他は、体力測定・ペタンク・卓球・バトミントン・輪投げが準備されており、それぞれの競技で汗を流し頑張りました。競技は誰一人怪我することなく午前中で終了し、午後からは、競技会場が懇親会会場になり楽しい時間を過ごしました。開催にあたり、コロナ対策は万全で参加者全員の検温、アルコール消毒、マスクを着用して競技を実施しました。このイベントを準備してくれた町内会役員をはじめとする多くの方々の協力の下に成り立っていると感じました。



7丁目の服部博さん指導のもとラジオ体操

(広報委員)



体力測定



卓球



ペタンク



バトミントン



輪投げ



懇親会

Happy Halloween!



みずき野幼稚園のハロウィン・パーティーが 10 月 29 日(木)に開催されました。当日は秋晴れの爽やかな天気にも恵まれました。色々なキャラクターに扮したかわいい衣装の園児たちが午前 10 時ころには園庭に勢ぞろい。午前 10 時半ころから先生たちの先導の下に園庭を出て町内を元気に練り歩きました。(広報委員)



集会所前の魔女



パレードを終えて幼稚園に帰っていく園児たち。楽しかったね!

新型コロナウイルス対策を徹底的に取り組み、快晴の11月15日(日)に「健康ウォーキング大会」を開催しました。この大会のモットーである『爽やかな秋空の下、みずき野の自然の中、散歩を楽しみましょう。ご自分のペースで、急がずゆっくりとさあ散歩に出かけましょう!』の趣旨の下、155名の参加がありました。コース途中には、郷州里山の会による甘酒サービスの歓迎がありました。ゴール後には、「みずき野ひろば購入券」が30名様に当たる抽選会に皆さんの一喜一憂の笑い声が印象的でした。同時に「ふるさとみずき野朝市」「郷州里山の自然観察会」および「カレンダーの当日販売会」も開催しました。参加者からは「コロナ禍で身も心も疲弊状態にあり、解消に良かった」との感想が聞かれました。これからも長く続く新型コロナウイルス禍も気持ちの持ちようです。負けないよう頑張りましょう!

健康ウォーキング大会



(町内会 大村副会長)



「みずき野ひろば」の近況

(まちづくり協議会事務局 泉 正男)

今年7月18日(土)に市から支援の下、「みずき野ひろば」をオープンして早や4か月になりました。住民の皆様、また近隣の皆様方にもご利用いただいて徐々に店舗の存在が知れ渡ってきたと感じています。さて、最近の「ひろば」の利用状況についてお知らせいたします。7月～10月までの利用者月平均は毎日90名、多い日は1日150名になる日もあります。またカスミ無人店舗の利用平均は4名と少ないですが、

「ひろば」店舗のアプリ登録者は、既に120名に達しており予想以上の進展がありました。まちづくり協議会としては、「みずき野ひろば」をより多くの皆様への利用促進を図るためオープン以降、夕涼み会・敬老行事記念品配布・健康フェスタなど、ひろば前でのイベントを実施いたしました。今後も朝市・竹灯りなども企画しています。まだまだ皆様の身近な店舗としての位置づけになるためには、色々と改善努力が必要と認識しています。

皆様からの「みずき野ひろば」に関する意見、要望を集約しながら頑張っていく所存です。引き続き「みずき野ひろば」のご利用をお待ちしています。



10月16日(金)の店内



移動スーパーの 運行が始まりました



運行スケジュール

10月26日(月)から、守谷市と包括連携協定を結んでいる(株)カスミの移動スーパーが始まりました。移動スーパーは、この協定に基づいて運行しています。

みずき野地区も買い物難民者が年々増えています。買い物がつらい方は、この機会に是非利用されてみては如何でしょうか。生鮮食品、牛乳やパン、日用品など約400種類の商品を積み込み巡回しています。

移動スーパーの運行日と駐車場所		
	月曜日	木曜日
・どんぐり集会所	13:45~14:00	10:20~10:35
・さくらの杜公園駐車場	14:10~14:25	10:35~10:50
・みずき野幼稚園駐車場	↓	10:55~11:10
・みずき野6丁目空き地	14:30~14:45	11:15~11:30
・小山公民館	14:50~15:05	11:35~11:50
・プロテック物流空き地	15:10~15:25	11:50~12:05

(広報委員)



どんぐり集会所



どんぐり集会所



さくらの杜公園駐車場



さくらの杜公園駐車場



6丁目空き地



6丁目空き地

10月26日(月)



さくらの杜公園駐車場



さくらの杜公園駐車場



さくらの杜公園駐車場



みずき野幼稚園駐車場



みずき野幼稚園駐車場



みずき野幼稚園駐車場

11月5日(木)

まちづくり協議会の構成団体のご紹介

会長 山下 勝博
事務局 泉 正男

守谷市の提案の下、令和元年 8 月 29 日、“みずき野地区まちづくり協議会”を設立いたしました。

みずき野地区まちづくり協議会は現在 18 団体の構成委員から成り立っております。

11 月号では、「6丁目チョイサポの会」と「社会福祉協議会みずき野支部」をご紹介します。

18団体の構成委員	
1 みずき野町内会	10 防犯連絡員みずき野支部
2 NPO法人明日のみずき野を考える会	11 ティーふれ
3 6丁目チョイサポの会	12 談話室花みずき
4 地域敬老行事実行委員会	13 夏まつり実行委員会
5 子ども育成会	14 郷州里山の会
6 郷州小学校	15 みずき会
7 自主防衛隊	16 ポケットの会
8 社会福祉協議会みずき野支部	17 たんぽほの会
9 学生プロジェクト	18 もりあく

6丁目チョイサポの会

みずき野6丁目(390世帯・900人)の住民を対象に2018年3月に結成、同年4月から正式に活動開始しました。向こう3軒両隣・スパンの方々のほんのちょっとした困りごとをお互いに助け合ってより安心で安全な楽しい生活をしていこうとの目的です。サポーターは現在30数名で活動中です。

サポート内容は、ゴミ出し、簡単な掃除、粗大ゴミ出し、家具移動、ペットの世話、子守り(親同伴)などの日常家事お手伝い。草取り・水やり・簡単な庭木伐採などのお庭仕事。お買い物(お買い物代行・同行送迎)。部品交換、水漏れ応急修理、日曜大工などの簡単な故障診断修理支援。その他、おしゃべり・趣味のお相手、調理支援、茶話会、役所病院同行、行政の福祉や民間支援先窓口紹介など。支援件数は月10件程あります。

6丁目を4グループに分け夫々世話人を連絡先として住民の声を聴き対応しています。また、月1回集会所で茶話会を開き、皆さんの疑問・要望・相談をお聞きし、より親睦を深めるように心掛けています。

他丁目の方々からの支援の要望については、余裕があれば対応させていただいていますが、丁目ごとにチョイサポ活動を是非組織化していただくよう精一杯支援し頑張っています。

(代表 堀 八紘)

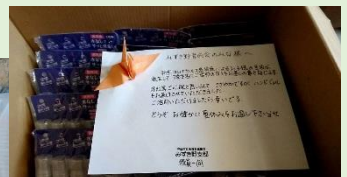
社会福祉協議会みずき野支部

来年の干支は『丑』です。牛はのろのろと自分の行きたいところへ真っ直ぐ歩む。のろのろと行きたいところまで、真っ直ぐ進めなかったのが残り2ヶ月あまりとなった2020年。例年、地域交流活動を行っていた社協みずき野支部も、自粛を余儀なくされる状態でした。家から出るなどと言われ、一時は皆で迷子になった様な不安な日々を過ごしました。その様な状況下、我々支部としてできる事を模索した結果が、高齢者の方々の見守りとして『マスク』のお配りと、育成会への衛生応援として『ハンドジェル』の差し入れでした。

そして敬老の日、なかなか外出がままならない日々をお過ごしの方々へご長寿のお祝いとして、『紅白饅頭』をお届けしてお祝いしました。

コロナ禍は去っていないものの、何とかすべし足を踏み出し始めた現在です。

来たる2021年は『ひと足』『ひと足』着実に歩める活動が出来る事を願っています。



(支部長 山田 洋子)

編集後記

みずき野地区の高齢化率(65歳以上)は46%(2,205人)で守谷市26地区の中で一番高齢化が進んでいます。買い物が不便になった住民に気軽に立ち寄ってもらう店舗としてみずき野地区まちづくり協議会が主催する『みずき野ひろば』と名付けたコミュニティーショップが7月18日に旧三井住友銀行ATM跡地にオープンしました。また、守谷市とカスミは包括連携協力に関する協定を締結し10月26日からカスミの移動スーパーが月曜日と木曜日にみずき野地区6カ所で販売を開始しました。更にお買物サポートを毎週木曜日(行き先:第1週ジョイフル本田、第2~4週イオンタウンカスミ)に行っています。乗車場所は郷州公民館前とファミリーマートです。買い物が終わった帰りは、ご自宅までお送りします。是非、ご利用してください。

(広報委員 青木 正)